

令和３年度第３回旭川市スポーツ推進審議会 会議録

日時		令和４年３月２３日（水） 午後６時～午後８時
場所		旭川市神楽４条７丁目 道北アークス大雪アリーナ 多目的ルーム
出席者	委員	９名（敬称略：五十音順） 飯田委員，大城委員，荻野委員，武田委員，富田委員，永瀬委員，則末委員，古川委員，森峰委員
	事務局	５名 スポーツ課（高橋課長，森田施設・合宿担当課長，奥山課長補佐，松本，佐藤）
欠席者	委員	池田委員
会議の公開・非公開の別		公開
傍聴者		(1)市民 ０名 (2)報道機関 ０名
議事		１ 開会 ２ 議事 （１） 令和４年度予算（案）について （２） （仮称）旭川市スポーツ推進計画について （３） その他 ３ その他 ４ 閉会
会議資料		資料１ 令和４年度スポーツ課予算案について 資料２ 第２次旭川市スポーツ振興計画の評価について 資料３ （仮称）旭川市スポーツ推進計画の策定に当たって 資料４ （仮称）旭川市スポーツ推進計画の構成要素案について 資料５ （仮称）旭川市スポーツ推進計画の策定に向けた論点の整理メモ 資料６ 第３期スポーツ基本計画中間報告案（概要）について 資料７ 運動・スポーツに関する意識調査について 資料８ （仮称）旭川市スポーツ推進計画策定スケジュール案について
議事内容等	発言者	発言の要旨
１ 開会	事務局	委員１名欠席の旨を報告
	会長	会長挨拶
２ 議題 (1) 令和４年度予算（案）について (2) （仮称）旭川市スポーツ推進計画について	会長	議事第１号「令和４年度予算（案）について」事務局から説明願う。
	事務局	（資料１に基づき説明）
	会長	事務局から，令和４年度予算（案）について説明があったが，意見や質問等はあるか。
	会長	新規取組のスポーツ推進委員会考案体操解説書の印刷費はいくらかかるのか。
	事務局	Zoo体操，ちびっこZoo体操解説書印刷費として７万６千円を計上している。
	会長	議事第２号「（仮称）旭川市スポーツ推進計画について」事務局から説明願う。
	事務局	（策定スケジュールについて資料８に基づき説明）
	会長	事務局から，今後のスケジュールについて説明があったが，関係団体ヒアリングでは素案を示すのか。
	事務局	素案を示すのは難しいと思われる。全体の意見を，スポーツ協会や加盟団体等，幅広く伺いたいと考えている。

	会長	総合型スポーツクラブやプロのチーム、民間のスポーツクラブも含むか。
	事務局	総合型スポーツクラブの上川ネットやヴォレアス北海道、民間のスポーツクラブ等にも意見を伺う予定。
	会長	次に、「第2次旭川市スポーツ振興計画の評価について」事務局から説明願う。
	事務局	(資料2に基づき説明)
	会長	事務局から、第2次旭川市スポーツ振興計画の評価について説明があったが、主要課題3の子どものスポーツ振興がC、その他がBであり、残った課題もあるという内容だった。 意見や質問等はあるか。
	委員	子どものスポーツについて、スキーマインストラクターをしているが、リフトの乗り方の習得を見ても、今年は体力の低下を感じている。特にスポーツの苦手な子どもの体力の衰えについて考えていく必要がある。
	会長	子どものスポーツの機会をどうやって提供していくか、体育の授業でいかにスポーツを好きにさせるか等の問題を含めて、今後の審議の中で話し合いたい。
	委員	障がい者スポーツに関して、旭川市は積極的に取り組んでいるので評価できると考える。旭川市の取組は道内でも突出しており、全国に誇れる取組を行政と地域関係者が一緒になって行っている。障がいのある子どもたちのスキー授業について、以前は見学や欠席をする子どもが多かったが、専用の用具を使えば他の子と同じように授業を受けられるのが当たり前になったのは大きな変化。ただ今後は、小中ではできるが、高校ではできないという課題が出てくる。今の課題をクリアできたからこそ次の課題に向かっていくのではないかと思う。
	会長	障がい者スポーツに関して進んでいるということ全国に情報発信するとともに、高校までどう継続するか、道や道教委と連携して頑張っていきたい。
	委員	主要課題1、重点取組1、展開施策1の「スポーツネットワークの構築」について、スポーツカレンダーは掲載されているが、イベントのカレンダーはあるか。
	事務局	スポーツカレンダーは大会の一覧。スポーツイベントを網羅したサイトを構築できていない。生涯学習に関わるサイトはあるが、情報量や利用頻度は高くない。スポーツだけでなく色々なイベントに参加してもらえるようなサイトを作っていくことが課題と考えている。
	委員	展開施策5の「旭川市スポーツ協会HPの紹介」について、リーダーバンクの利用・対応状況はどのようになっているのか。
	事務局	以前から行っている取組だが、利用頻度は高くない。スポーツ協会のHPをリニューアルしてアクセスは速くなったが、中身についても、より利用してもらえるよう働きかけていきたい。
	会長	日本スポーツ協会ではマッチングアプリのようなものを使っており、団体が募集、指導者が登録してマッチングするというものだが、利便性の反面、危険性もあるので、市でやれるのか問題になると思う。
	委員	C評価である「子どものスポーツ振興」について、スポーツを行う子どもを一気に増やすというよりは、それぞれの地域に合ったスポーツを通して、スポーツの楽しさを体験させてあげる機会を作るしかない。Cを今後Bにするには、これまでやってきたことを継続するしかない。何か新しいことやるよりは、子どもたちがスポーツをできる機会・環境をたくさん作ることが必要。方法として、SNS等で親に見てもらい、人を集めることを続ければ、市のスポーツ振興はより良くなる。
	会長	地域スポーツクラブで子どもがスポーツをする機会をつくることを今後も継続していきたい。
	委員	課題をどう解決していくかに絞る必要がある。少年団について、まだ認知がされていない。連絡先の載った少年団一覧があるとよい。その延長で、高校で部活動がより盛んになるようにしたい。また、バーサーロペット・ジャパンについて、見直しが必要なのではないか。

	委員	旭川市スポーツ推進委員会について、成果については今後も継続したい。課題はより地域に密着した形でどうやっていけるか検討したい。バーサーについては、北彩都一本化が決定してからまだ開催されていないため、やってみてから検討すればよいのではないかと。また、先日のレクボッチャ大会について、小中高生が参加して交流していたのを見て、もっと高校生がスポーツに参加する方法があるのではないかと感じた。スポーツ推進委員会の広報で、活動内容がわかるパンフレットを作成したので活用していきたい。出前講座についても、地域でのスポーツ活動をもっと細かくやっていきたい。子どもの体力が落ちているのを何とかしていきたい。
	委員	まん防の期間、中学校の部活動は中止となり、1か月半部活ができていないことから、子どもの体力が低下している。スキー授業の減については、感染リスクの高いバス移動を避けるため授業の回数を減らしているのが2、3年続いていることと、バス代が高騰していることが原因だと思われる。主要課題3の課題にある「全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果」で、北海道全体が全国に比べ体力が低下していることについて、学校体育と社会体育が連携していかに体力を向上させていくかが大切。今後具体的取組を考える必要がある。
	委員	小中学校で年に1回クラスや学年でレクリエーションをやる必要があるが、適した活動を探しにくい。PTA役員会の保護者にどのようなレクリエーションがあるというのを市から伝えてほしい。
	会長	各委員から計画の評価について意見があったが、この計画を基にして今後市民意識調査があり、その結果を踏まえて再度評価をし、新たな計画に反映していくことになる。 次に、新たな計画について審議する。事務局から説明願う。
	事務局	(資料3に基づき説明)
	会長	事務局から、計画の位置づけ等の説明があったが、意見や質問等はあるか。
	会長	「ねらい」に「社会環境の変化に対応」とあるが、経済格差や子どもの貧困を含めて、旭川市ではどのようなことが考えられるか。
	事務局	年齢層の推移や子どもの貧困、経済情勢が与えるスポーツへの影響等、市のデータを基に計画に入れていきたい。
	会長	次に、構成要素案や策定に向けた論点の整理メモについて事務局から説明願う。
	事務局	(資料4～6に基づき説明)
	会長	事務局から説明があったが、資料5の論点整理メモについてそれぞれの立場から意見を伺いたい。
	委員	資料が多いため、スポーツ協会として今後時間をかけて理解していきたい。
	会長	例えば「取組内容」について、それぞれの立場から何ができるかを伺いたい。
	委員	市民のスポーツ活動を盛んにしていくために、地域スポーツクラブでは、高齢者向けにはボッチャをプログラムに入れ、子ども向けにはバルシューレをはじめ、生涯スポーツにつなげたいと考えている。
	委員	「情報発信」について、スポーツ活動はボランティア活動によるものが多いことから、互いの状況が把握しづらく、市民も興味はあるけどどこに行ったらいいかわからない状況。普通に生活していて情報が飛び込んでくる仕組みを考える必要がある。人口が多い街なので、資源や機会はあるはず。予算をかけずに「スポーツ機会の創出と充実」を図れたらよい。オリパラのレベルの話だと、「冬のナショナルトレーニングセンターの誘致」や「国際大会の誘致」とあるが、トップレベルの選手を生で見るとは非常に大きな影響力がある。トップ選手と子どもたちが触れ合う、生で見ることは、スポーツを始める上で重要である。トレセンの誘致については、施設の中にスキー場をつくるということではなく、道内で既に行われているスポーツをネットワークで繋ぎながら、交通拠点である旭川が中心となって取り組むことで可能性があると思う。旭川にはスノーボードフリースタイルに適したスキー場もあるので、そういったところに力を入れると、競技力の向上やスポーツ大会誘致につながると思う。 経済的なことについて、中国からの観光客が駅付近でスキーを履くだけで楽しんでいたように、スキー体験等に力を入れたら、経済的にもつながり、旭川の魅力も広がるのではないかとと思う。

	委員	部活動の問題について、地域に移行する流れが出ている。部活動の在り方が変化する過渡期にある。岐阜県多治見市では午後５時までは学校体育、それ以降は地域の人が指導、と分けている。本市では、謝礼や指導者等の問題があるため、今後どうクリアしていくかが課題。 本市は人口や中体連の数に対して体育館が少なく感じる。予算の問題もあるが、ぜひ体育館の建設をお願いしたい。また、「閉校となった学校施設の活用」の記載があるが、色々な課題があるため、実現は金銭的にも難しいと考える。
	委員	推進委員会として、コロナ禍で地域に入っていけない状況。今後少人数でできることを考えていきたい。また、子どもの習い事について、経済力がないと習わせられない実態があると思う。お金がある人がスポーツができて、ない人はしなくていいという状況は問題だと感じる。
	会長	それぞれの立場から意見が出たが、今回の資料をもとに後日皆さんの意見を事務局に提出してもらいたい。 次に、「運動・スポーツに関する意識調査について」事務局から説明願う。
	事務局	(資料７に基づき説明)
	会長	意識調査について説明があったが、意見・質問等はあるか。
	委員	(意見等なし)
(3) その他	会長	議事第３号「その他」について、委員、事務局から情報提供などあるか。
	委員	(情報提供等なし)
	事務局	次回の審議会の開催は７月から８月頃を予定しており、日程調整後、開催させていただきたいと考えているので、よろしくをお願いしたい。また、計画のたたき台についての意見は、４月末までに事務局に提出をお願いしたい。
4 閉会	会長	以上で令和３年度第３回旭川市スポーツ推進審議会を終了する。